

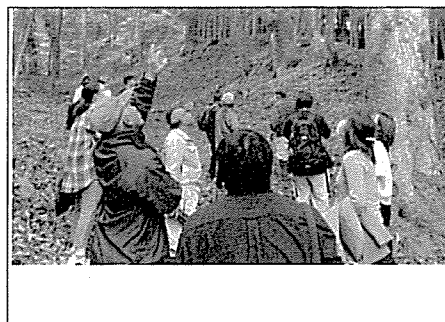
令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	つながり人口創出事業「天龍つなぐカレッジ」
事業主体 (連絡先)	天龍村 (地域振興課移住定住推進係 0260-32-1023)
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,960,000 円 (うち支援金: 1,568,000 円)

事業内容

住まなくとも(住めなくとも)地域とつながりづくりを行ういわゆるつながり人口(関係人口)創出の事業です。

天龍村で行うつながり人口の事業は「秘境大学」と題し、村を大学に、地域の住民を教授に、参加希望者を学生に見立て、都市部から通いつづけている協力者をリーダーとして地域活動の輪を広げる事業を行っています。2022年度は秘境のカルチャーに触れるチームと里山のマーケティングをテーマに、外部講師を交えた募集説明会を開催し、参加者を募り、村内での活動を行いました。



【教授陣による森の説明風景】

【目標・ねらい】

地域住民と都市部等の住民が交流を通じて長期的に関わりが持てるよう「行きつけの田舎」をつくる。

- ①天龍つなぐカレッジ参加者 10名
- ②地域内協力者 20名
- ③向方かけ踊りの復活

事業効果

昨年度に引き続き、今年度行われた向方お潔め祭りには新たに1名の舞い手が参加したほか、長らく休止していた夏のかけ踊りの復活を遂げるなど、都市部等の住民らの協力によって活気が生み出されました。また、テーマや事業説明会の開催まで協力者と何度も打合せを実施し、参加者を募るための仕掛けや工夫を凝らしたことで、定員を超える応募がありました。

- ①秘境大学への参加者 目標10名 実績11名
※募集説明会参加者は2回合わせて98名、秘境大学応募者は23名、のち選考し参加者を11名としました。
- ②地域内協力者 目標20名(延べ人数) 実績20名
- ③かけ踊りの復活(プレイベントの開催) 達成

※自己評価【A】

【理由】
地理的条件が不利な場所にあっても、テーマやコンセプトを明確化することで地域の想いに共感できる方を集めることができました。また今年度の参加者も引き続き地域活動への参加を予定しており継続的なつながりが見込めるため。

今後の取り組み

天龍村の関係人口のプログラムとしては通算4年目(元気づくり3年目)になりますが、5年目に向けてほかのテーマや村内の地域で事業を行うことを計画しています。来年度の秘境大学のテーマは「郷土食」の予定で、アフターコロナ、ウィズコロナを見据えて、これまで難しかった交流や食を切り口とした事業を検討しています。

また、お祭りや地域への通う方が年を追うごとに少しずつ増えてきていることから、地元との調整や村内各地でこうした受け入れが実現できるように調整したいと考えます。事業は1年単位ですが、年々新たな方が天龍村に通うようになってきていることから、イベント開催毎に定期的な情報発信を通じ、通いつづけられる仕組みも構築したいと考えます。

直近では地域活動への協力が主な内容ですが、地域とさらに関係性が築けた暁には、都市部から通う人たちが主体となったプロジェクト等の立案や推進も検討していきたいと考えます。